



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日 東

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所
 コード番号 4704 URL <http://www.trendmicro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-5334-4899
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	27,517	6.7	8,937	21.8	9,686	26.7	6,038	25.3
25年12月期第1四半期	25,783	13.9	7,338	31.8	7,646	31.7	4,820	46.8

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 4,764百万円(△43.4%) 25年12月期第1四半期 8,411百万円(27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	44.76	44.46
25年12月期第1四半期	36.60	36.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	248,826	130,717	51.6
25年12月期	261,493	142,539	53.6

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 128,317百万円 25年12月期 140,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	125.00	125.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の期末配当については未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	3.4	30,100	2.2	32,000	△1.4	19,100	△2.5	141.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	140,293,004株	25年12月期	140,293,004株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	5,348,424株	25年12月期	5,430,724株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	134,889,879株	25年12月期1Q	131,704,268株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高		
	平成26年12月期 第1四半期	平成25年12月期 第1四半期	増減率
日本	11,934	11,742	1.6%
北米地域	5,998	5,480	9.5%
欧州地域	5,632	4,779	17.9%
アジア・パシフィック地域	3,288	3,143	4.6%
中南米地域	662	637	3.9%
合計	27,517	25,783	6.7%

当第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日)における世界経済は、地政学的リスクをはらんだ欧州経済や、新興国の一部に成長減速の懸念がみられるものの、米国経済が年初に悪天候の影響を受けたにも関わらず、企業の景況感、個人消費、雇用情勢の底堅さなどを背景に力強い回復を見せ、世界経済をけん引するであろう期待の中、推移いたしました。

わが国経済は依然として世界景気懸念や貿易赤字が続くものの、緩やかな景気回復のなか推移しました。政府の積極的な経済政策や日銀による大規模な金融緩和の下、課題であったデフレも脱しつつある兆候をみせ、大企業を中心に賃金改善がみられるほか個人消費も底堅く、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による一時的な活況感などに支えられ、日本経済は引き続き回復しつつあります。

情報産業につきましては、世界のパソコン出荷台数が依然として減少傾向にあるものの、引き続き世界的にサーバ仮想化を含むクラウドコンピューティングとそれに伴うITサービス、タブレットをはじめとするモバイル端末への需要が強さを増しました。一方、国内パソコン出荷台数においてはWindows XPのサポート終了に伴う買い換え並びに消費増税前の駆け込み需要などが追い風となり、前年同期比を大幅に上回りました。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものであります。

日本地域は、クラウド関連ビジネスの伸長を受け企業向けビジネスが増収となりました。一方、個人向けビジネスはWindows XPのサポート終了に伴う買い換え並びに消費増税前の駆け込み需要による好調なパソコン販売の恩恵を受け、足下状況は良好でした。しかしながら当社製品の出荷は大幅に伸びたものの、それに伴うリポートが増加し、一方、サポートサービスの対価部分の多くは翌四半期以降に繰り延べられる影響により個人向けビジネスは前年同期比微減となりました。その結果、同地域の売上高は11,934百万円(前年同期比1.6%増)と増収となりました。

北米地域におきましては、引き続きクラウド関連ビジネスの伸長を見せる企業向けビジネスが、現地通貨ベースでも増収を維持しました。一方、個人向けビジネスはユーザ数の減少に伴い現地通貨ベースでは減収とふるいませんでした。その他、円安の影響を大きく受けた結果、同地域の売上高は5,998百万円(前年同期比9.5%増)の増収となりました。

欧州地域につきましては企業向けビジネス、個人向けビジネスとも現地通貨ベースでも増収となり、また円安の影響を大きく受け、両ビジネス共に二桁成長となりました。その結果、同地域の売上高は5,632百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

アジア・パシフィック地域につきましては、主にオーストラリアと中国が現地通貨ベースにおいても堅調であり引き続き同地域を牽引しました。その結果、同地域の売上高は3,288百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

中南米地域におきましてはブラジル、メキシコ共に現地通貨ベースにおいても堅調な伸びを示しました。同地域のみ円高の影響を若干受け、同地域の売上高は662百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

その結果、当社グループ全体の当第1四半期連結累計期間における売上高は27,517百万円(前年同期比6.7%増)と全地域において増収となりました。

一方費用につきましては、売上原価および、販売費及び一般管理費の合計費用は前年同期と比べてほぼ変わらずの18,580百万円(前年同期比0.7%増)となり、当第1四半期連結累計期間の営業利益は8,937百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の経常利益は有価証券売却益の増加等により9,686百万円(前年同期比26.7%増)、四半期純利益は6,038百万円(前年同期比25.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は57,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,478百万円減少いたしました。投資有価証券は増加しましたが、主に現金及び預金や有価証券が減少したこと等により、当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ12,667百万円減少の248,826百万円となりました。

一方、当第1四半期連結会計期間末の負債は未払法人税等の減少等により前連結会計年度末に比べ845百万円減少の118,108百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払い等により、前連結会計年度末に比べ11,821百万円減少の130,717百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年2月18日に公表した通期業績予想の変更はございません。

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは困難であると考えておりますが、当社グループの通期の業績については、日本及び欧州は前年同期比5%程度の増収、米国は前年同程度の売上高を想定しております。これらを勘案し、通期連結業績につきましては、以下の数値を予想しております。

平成26年12月期通期業績見通し(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

連結売上高	112,000百万円
連結営業利益	30,100百万円
連結経常利益	32,000百万円
連結純利益	19,100百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	100円
1ユーロ	138円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,632	57,153
受取手形及び売掛金	24,546	24,244
有価証券	60,958	43,078
たな卸資産	408	432
繰延税金資産	15,462	15,695
その他	3,821	4,109
貸倒引当金	△217	△203
流動資産合計	184,612	144,510
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	3,271	3,140
その他（純額）	1,312	1,222
有形固定資産合計	4,583	4,362
無形固定資産		
ソフトウェア	6,975	7,371
のれん	1,119	992
その他	1,065	987
無形固定資産合計	9,160	9,351
投資その他の資産		
投資有価証券	51,095	78,830
関係会社株式	38	39
繰延税金資産	10,576	10,373
その他	1,425	1,358
投資その他の資産合計	63,135	90,601
固定資産合計	76,880	104,315
資産合計	261,493	248,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	486	685
未払金	3,789	4,415
未払費用	5,015	4,536
未払法人税等	5,279	2,922
賞与引当金	1,433	1,137
返品調整引当金	656	778
短期繰延収益	65,429	66,326
その他	4,976	4,361
流動負債合計	87,066	85,163
固定負債		
長期繰延収益	27,429	28,305
退職給付引当金	2,896	2,983
その他	1,561	1,656
固定負債合計	31,887	32,944
負債合計	118,954	118,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,386	18,386
資本剰余金	21,796	21,810
利益剰余金	113,509	102,636
自己株式	△16,303	△16,056
株主資本合計	137,389	126,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,768	1,304
為替換算調整勘定	1,045	235
その他の包括利益累計額合計	2,813	1,540
新株予約権	2,326	2,390
少数株主持分	9	9
純資産合計	142,539	130,717
負債純資産合計	261,493	248,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	25,783	27,517
売上原価	5,048	4,622
売上総利益	20,735	22,895
販売費及び一般管理費	13,396	13,958
営業利益	7,338	8,937
営業外収益		
受取利息	342	380
有価証券売却益	90	286
持分法による投資利益	-	0
為替差益	-	95
その他	34	29
営業外収益合計	468	793
営業外費用		
支払利息	3	0
有価証券売却損	0	-
為替差損	122	-
持分法による投資損失	1	-
その他	32	44
営業外費用合計	160	44
経常利益	7,646	9,686
特別利益		
新株予約権戻入益	46	5
特別利益合計	46	5
税金等調整前四半期純利益	7,692	9,691
法人税等	2,872	3,654
少数株主損益調整前四半期純利益	4,820	6,037
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	4,820	6,038

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,820	6,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	666	△463
為替換算調整勘定	2,924	△809
その他の包括利益合計	3,591	△1,273
四半期包括利益	8,411	4,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,410	4,765
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,692	9,691
減価償却費	1,797	1,672
株式報酬費用	116	128
新株予約権戻入益	△46	△5
のれん償却額	80	104
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△11
返品調整引当金の増減額(△は減少)	76	125
退職給付引当金の増減額(△は減少)	190	134
受取利息	△342	△380
支払利息	3	0
持分法による投資損益(△は益)	1	△0
有価証券売却損益(△は益)	△90	△286
売上債権の増減額(△は増加)	△219	26
たな卸資産の増減額(△は増加)	39	△29
仕入債務の増減額(△は減少)	259	215
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△561	238
繰延収益の増減額(△は減少)	1,152	2,364
自社株連動型報酬(△は減少)	25	△1,150
その他	203	△516
小計	10,369	12,321
利息及び配当金の受取額	348	165
利息の支払額	△3	△0
法人税等の支払額	△6,445	△6,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,269	6,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△854	257
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△23,612	△58,337
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	34,035	48,092
有形固定資産の取得による支出	△347	△420
無形固定資産の取得による支出	△868	△1,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,353	△12,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,848	-
自己株式の処分による収入	1,101	202
配当金の支払額	△8,222	△15,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,969	△15,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,238	△900
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,891	△22,129
現金及び現金同等物の期首残高	50,446	73,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,337	51,819

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,742	5,480	4,779	3,143	637	25,783	—	25,783
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	949	586	222	3,570	3	5,333	△5,333	—
計	12,692	6,067	5,001	6,714	641	31,116	△5,333	25,783
セグメント利益	4,944	1,058	765	482	122	7,373	△34	7,338

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・マレーシア・タイ・インド

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額△34百万円は、その全額がセグメント間消去の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,934	5,998	5,632	3,288	662	27,517	—	27,517
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	518	639	249	4,779	3	6,190	△6,190	—
計	12,452	6,638	5,882	8,068	665	33,708	△6,190	27,517
セグメント利益	4,740	1,684	1,175	1,069	137	8,807	129	8,937

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・マレーシア・タイ・インド

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額129百万円は、その全額がセグメント間取引の調整であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。